

# 登録土質改良基幹技能者講習を創設へ

## 第3回建設発生土リサイクル講習会を開催

### 全国建設発生土リサイクル協会

(二社)全国建設発生土リサイクル協会(JASRA、東京・千代田、赤坂泰子理事長)は1月18日、都内で、第3回JASRA建設発生土リサイクル講習会を建設発生土リサイクルの人の人材育成を目的として開催した。同会は赤坂理事長の開会あいさつで始まり、1月1日に発生した能登半島地震で亡くなられた方と被災者へのお悔やみ・お見舞いの言葉を送る、協会活動として「2024年から登録土質改良基幹技能者講習を開始する」と語り、講習は3部構成で、第1部では、建設発生土をリサイクルする意義として、国土交通省総合政策局公共事業企画課長補佐の村上正博氏が「建設発生土の削減が求められる」として、現状として発生土は公共土木工

事排出比率が79.5%と大幅に高い。リサイクル目標に対する達成状況は18年実績値で79.8%と、目標の80%以上にわずかに近づいて受注者と適切に協議する。継続的に大規模な建設発生土を発生している民間発注者については、指定利用等の実施や、それが困難な場合でも元請業者による適正処理が行われるよう求めるという。

また同省不動産・建設経済局建設業課課長補佐の國時正博氏が「建設発生土の削減が求められる」として、現状として発生土は公共土木工

赤坂泰子理事長



赤坂泰子理事長



都内で開催された第3回講習会

事発注者であることなど説明し、発注先を指定する指定利用の原則実施を要請。発注者に対し、契約締結時における適切な処理費用負担や、予期せぬ費用増が生じた場合には追加負担について受注者と適切に協議する。継続的に大規模な建設発生土を発生している民間発注者については、指定利用等の実施や、それが困難な場合でも元請業者による適正処理が行われるよう求めるという。

## 防火システムを導入

### 関西クリアセンター

#### 施設内での安全性向上へ

関西クリアセンター(大阪府堺市、伊山権一社長、072-280-1138)の「泉州プラント」は、24時間無人監視で火災を防止する「チェッカー式スプリンクラー」(土岐製)を導入した。近年、持ち込まれた廃棄物の中に、モバイルバッテリーや加熱式タバコをはじめとするリチウムイオン電池を含む電子機器が混入。非常に小さくヤードなどで取り除くことが難しいという特徴から、そのまま破砕機で押し潰されることで発火、周囲の廃棄物に火が付き被害が広がるといったトラブル



導入した「チェッカー式スプリンクラー」

が全国規模で頻発している。今回、防火システムを導入したことについて、常務取締役の伊山正義氏は、「施設内の作業員のみならず、社内全体に安心感が生まれる。泉州プラントは年間約3400日間は稼働している。取扱量を考えれば、いつ発火が起きても不思議ではないことから、緊急時に備え、いつもスマホが手放せなかった。防火システムを取り入れることで、要らぬ心配が一つ減り、より業務に集中できるようになった」と話す。

「チェッカー式スプリンクラー」は、10リットル以下という非常に小さい炎から感知ができて、手放せなかった。防火システムを取り入れることで、要らぬ心配が一つ減り、より業務に集中できるようになった」と話す。

## 全国規模で瓦リサイクルを推進

### 付加価値高めた製品開発に注力

(一社)瓦チップ研究会(岐阜県富加町、販売・施工・研究を共催)は、Kーグラウンド会や瓦リサイクル事業協同組合



第12回通常総会を開催(オンライン画面)

業活動にもより一層注力していく方針とし、各県の販路拡大、会員間の協力体制を強化する意向を確

この1年間の持家・貸家・分譲主宅の戸数

## 建築工計 全体で3年ぶりに減少

### 付加価値付け売却検討も

国土交通省は1月31日、2023年の建築着工統計調査報告を発表した。これによると、新設住宅着工は、持家と貸家、分譲住宅が減少したことを受け、全体で前年比4.6%減の81万9623戸だった。減少は3年ぶり。新設住宅着工床面積は、同7.0%減の6417万8000平方メートルで、2年連続の減少となった。

九州で解体事業を展開する経営者は、「今までの解体需要は異常だったのではないかと。確かに今は、これまでのような勢いはない。ただ、今の状態がむしろ「正常」なのではないか」とする声も

**「ラクラク」機能**

- ニフェスト管理
- 廃イチロー
- 電子マニフェスト管理
- SMS-ASP
- 請求管理

マニフェスト返送 ひも付け 契約検査 法定帳簿 行政報告

電子マニフェストEDI接続

JWNET

(営業・管理・経理部門)

**3種選別機 バリオセレーター**

- 特長: 材料の物性に依りて軽量物、細粒物、重量物の3種類に選別します。
- 用途: 建築系混合廃棄物の選別(RPF原料の選別)、容器包装プラスチックの選別、資源ゴミ粗大ゴミの選別

**AIロボット選別機 ロボセンエース**

- 特長: 2D・3Dカメラに加えてハイパースペクトルカメラ(波長光による分析)により選別判定精度が大幅に向上。ハンドでは掴みきれなかった材料も吸着によりがっちりとホールド。高さや長さだけの判定でなく反射や色等の設定も可能。